

サラリーマンが注目する “週末起業”

藤井孝一 ● 経営コンサルタント (中小企業診断士)

3つの共通項は「会社を辞めない」「小資本」「インターネット」 トレンドは情報商材を扱うことから始める“情報起業”

起業に憧れるサラリーマンは多いが、リスクを考えるとなかなか踏み切れない。そんなサラリーマンから注目されているのが「週末起業」という起業スタイルだ。起業のために会社を辞めれば安定収入を失い、家計がリスクにさらされる。このリスクを回避するため、会社を辞めずに終業後や週末を使って小資本でビジネスを立ち上げる。給与所得を起業のセーフティネットにしようという発想、それが週末起業だ。

すでに多数にのぼる週末起業家

実は、この週末起業を含む副業に挑戦するサラリーマンはすでに相当数いる。労働生産性本部の調査(1995年)では、日本の会社のうち8割以上の会社が副業または兼業を禁止している。これに違反すれば服務規程違反となり懲戒解雇の可能性もありえる。にもかかわらず、総務省の調査(2002年)によると本業がサラリーマンなどの雇用者で年間250日以上働いている人2100万人のうち、副業をもつ人は69万人と3.2%に及ぶ。副業従事者は会社にはばれるリスクを嫌うために、実際にはさらに多い可能性がある。

なお、週末起業はいわゆる副業とは一線を画す。会社を辞めずに別の仕事をする点は共通するが、人に雇われるか否かが異なる。副業は人に雇われてアルバイトする、週末起業は自らビジネスを立ち上げる。そこが大きな違いだ。

週末起業の実態に関する調査は今のところ実施されていないが、全就業者中、副業をもつ人の副業の仕事の内容に関する調査(資料7-5-1)によると、自営業を営む人(農林水産業を営む人を除く)が39.7%程度であることから、上記69万人にも相当数の週末起業家が含まれていると推測される。

週末起業の人気業種

週末起業で最も人気があるのが小売業だ。ついでコンサルティング、教育などの情報業に人気が集まる(資料7-5-2)。具体的には次のような例がある。

- ・ インターネットを使って趣味のカメラや鉄道模型を売る
 - ・ 趣味の自転車で得た自転車修理技術を教える学校を開校
 - ・ 自作の曲を自分でCD化してインターネットで販売
 - ・ 結婚式の司会の副業がこうじて司会者派遣業を始める
 - ・ 夜景鑑賞で得た知識を生かして夜景評論をする
- 彼らは現役サラリーマンでありながら、終業後や週末を使

って自分のビジネスを行っている。なかには、これらのビジネスで本業の年収を大きく超えるほどの収入を稼いでいる人もいる。これを足がかりに会社を興して独立する人もいる。

週末起業家とインターネット

彼らに共通するのは、「会社に勤めながら」「お金をかけずに」「インターネットを駆使して」起業していることだ。インターネットを使うおもな理由は次の3点である。

・ 時間の制約があるため

週末起業家は平日昼間は本業があるため、顧客や取引先に電話したり訪問したりできない。リアルタイムの対応をしなくてすむインターネット経由でのやり取りが不可欠になる。

・ 小資本であるため

週末起業では、万が一失敗したときのダメージを極力小さくするためビジネスの立ち上げにお金をかけない。数万円から十数万円程度の元手で始める人が大半だ。小資本でのビジネス立ち上げにはインターネットが不可欠で、そのほとんどは自宅で使うパソコンや常時接続環境の整備などに使われる。

・ 1人で始めることが多いため

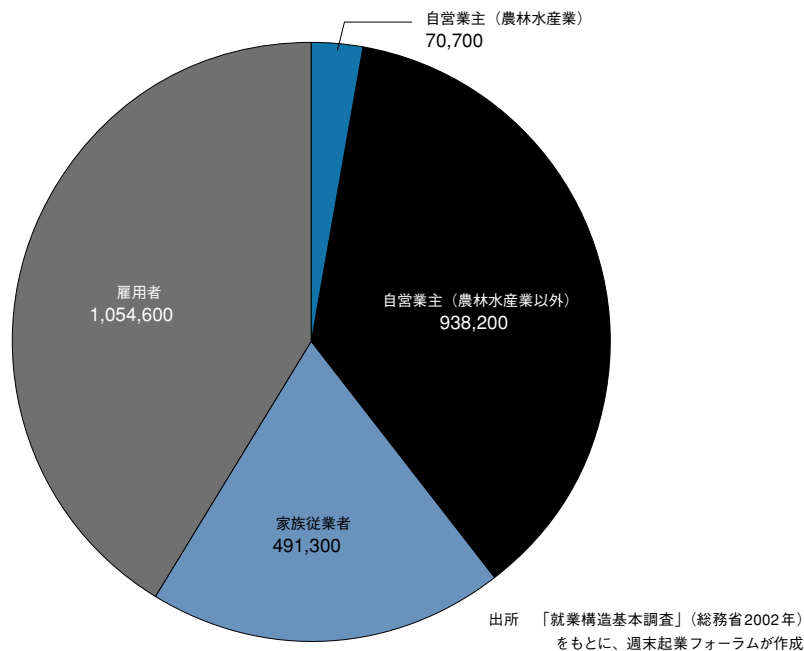
週末起業は1人、または家族で始めることが多い。理由は、小資本であるために人を雇えないことに加え、当時者を増やすことで外部に知られることを懸念するためだ。人手不足は自動化や外部リソースの活用で補う。たとえば受注メールを自動返信するCGIプログラムの活用や、決済のクレジットカード化、データベース管理のASPへの委託など。その際インターネットの活用が欠かせない。

情報起業という起業スタイル

起業全般の傾向として、情報商材を扱うことから事業をスタートさせる「情報起業」と呼ばれる起業スタイルが最近、注目されている。これは特定分野に関する専門知識や、実践を通して構築されたノウハウをビデオやCD、マニュアルなどに収録し、eメールやウェブ経由で販売するものだ。アメリカではインフォプレナー(Infopreneur)と呼ばれ、10年ほど前から注目されており、最近日本でも一般的になってきた。情報商材なら時間と資本の制約がある週末起業でも着手しやすい。そのため、業種の選定段階から情報商材を取扱い商品にしようとする週末起業家が増えている。これが週末起業家のインターネット活用頻度をさらに高めている。

94万人の自営業主の中に週末起業家が含まれる

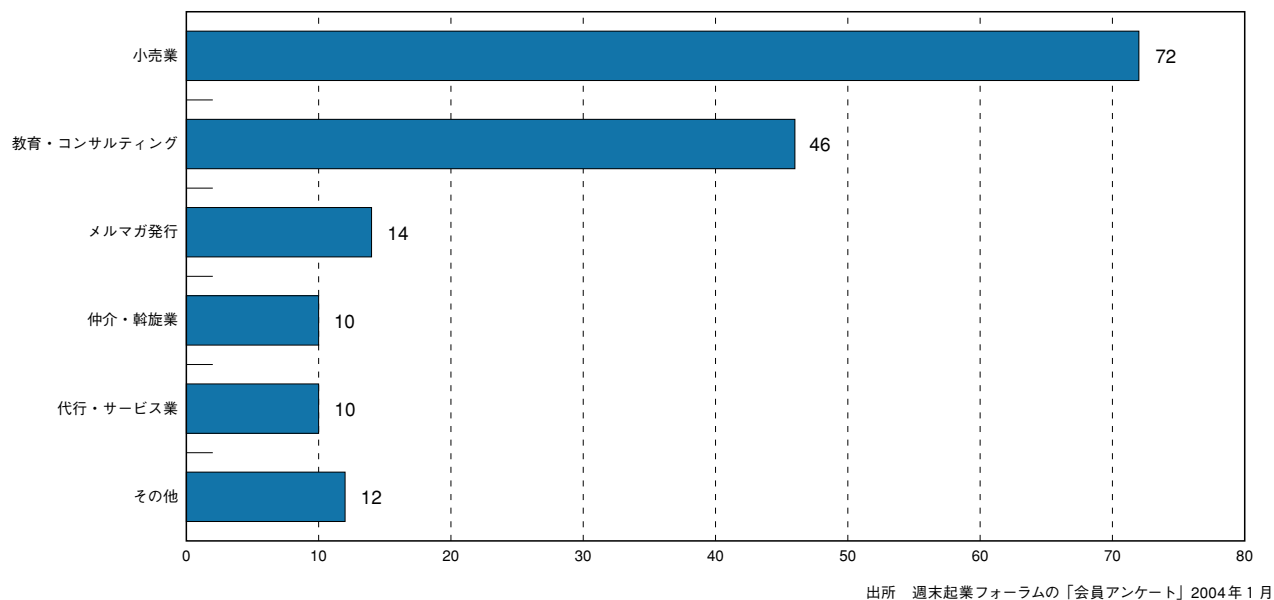
資料7-5-1 副業をもつ人の副業の地位



仕事をもつ6,501万人のうち、本業以外の仕事をもつ人は255万人。うち本業以外の仕事が雇用者である人は105万人、自営業主101万人。自営業主から農林水産業を営む人を除く94万人の中に週末起業家が含まれている。

最大人気は小売業、その大半はオンラインショップ経営

資料7-5-2 週末起業家が取組む業種



週末起業の業種として最も人気があるのが小売業で、その大半がインターネットを介して販売するオンラインショップ経営である。次に経営コンサルティング、教育業など専門性の高い仕事が多い。週末起業は時間や資本の制約があるためインターネット活用が前提となるが、その中で着手しやすい業種に人気が集まる。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp